

家具転倒防止伸縮棒

天井がしっかりとしたコンクリートなどで出来ている場合に使用。天井の強度が弱い場合はあて板をするなど補強して使用するようにしましょう。



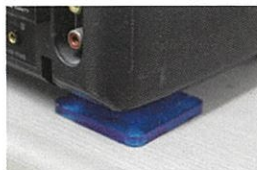
家具転倒防止金具

釘やネジ・ベルトで直接、家具の両端を壁や柱に固定します。普通のL字金具でも十分です。一番確実な方法と言われています。



耐震用マット

玄関の下駄箱は固定し、なるべくものを置かないようにしましょう。



家具や電化製品などの転倒防止に効果があります。大きな地震の場合は、トースターや炊飯器なども飛ばされて危険です。小型家電にも対策を！

家具の配置で気をつけること

寝室に家具を置く場合は背の低いものを。



家具が倒れても逃げ道がふさがないようにドア周辺に置くのは避けましょう。



玄関までの通路には倒れそうな家具は置かないようにしましょう。

転倒防止・破損防止のポイント

家具安定補助版

敷板をかませて前方に倒れないようにします。天井とのつっぱりやL型金具などによる家具の固定と併用するとよいでしょう。



引き戸ストッパー

開き戸ストッパー

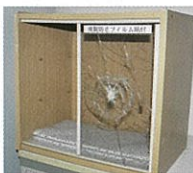
食器すべり止めシート



開き戸や引き戸にストッパーをつけておくと、食器が飛び出さなくて安全です。

ガラス飛散防止フィルム

食器棚や窓に貼って、割れた時にガラスが飛び散るのを防ぎます。ガラス片だけが飛ぶことが多いので非対策を！



やけどに注意

震災時、電気ポットのお湯をかぶってやけどをする事故がありました。非常時だからこそ、子どもの事故予防対策が大切です。



太白区保健福祉センター 家庭健康課

住所／仙台市太白区長町南3丁目1-15

電話／022-247-1111

子育て家族の防災
自宅の安全対策の巻



おやこでチャレンジ！防災術

自宅の危険度をチェックしよう

～日頃の事故対策にもつなげよう～



一日の中で一番長い時間を過ごすのが自宅です。

まずは、危険な場所をチェックして、安全な場所を確保しましょう。

太白区家庭健康課母子保健係

乳幼児の事故予防ワーキングメンバー作成

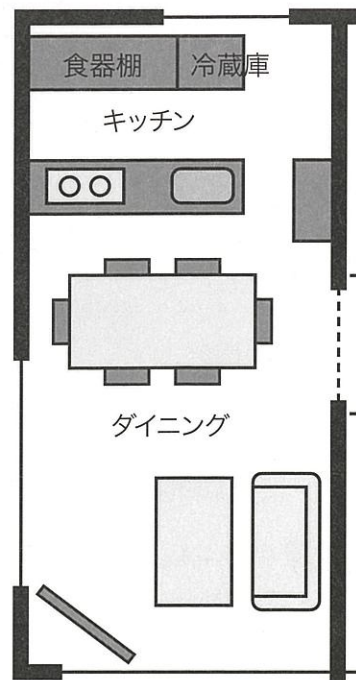
わが家の安全なスペースを確保しよう

- ① 自宅の間取り図と家具の配置を描きます。
自分でわかる略図でOK!
- ② 地震が起きたら危険な場所に×印をつけてみましょう。
(タンスが倒れる・食器が割れる・テレビが落ちるなど)
- ③ 安全なスペースを囲んでみましょう。



こんな感じで描いてね!

間取りの記載例



乳幼児のいるご家庭は 溺水対策を優先に!

乳幼児は10センチの深さの水でもおぼれます。防災対策で浴槽に水を溜めているご家庭も、子どもが小さいうちはおぼれる事故を防ぎましょう。

対策

- ① 浴槽に水をためたままにしない(残り湯をしない)
- ② 風呂場に子どもが1人では入れないよう工夫する

わが家の防災 自宅の間取り図・家具のレイアウト

Blank space for drawing the floor plan and furniture layout.

安全な場所は確保できていますか?現在の自宅の危険性について家族で話し合い、必要があれば家具などの配置を考え、固定するなどしましょう。

自宅の危険度チェック表



項目	チェック欄	
	1回目	2回目
1 1981年5月以前に建てられた建物に住んでいる場合、耐震診断を行っている		
2 背の高い家具・重い家具に転倒防止対策を行っている(高層階居住の方は背の低い家具にも対策をしている)		
3 寝室には倒れてくるような家具を置いていない		
4 家族の集まるスペースには、なるべく背の高い家具や落下して危険なものは置かないようにする		
5 玄関・廊下・ドア周辺に転倒、移動しやすい家具類を置かないようにしている		
6 棚の上に落ちると危険なものは置いていない		
7 テレビやパソコンなどは固定している		
8 揺れても家具が倒れてこない、安全なスペースが住居内にある		
9 ガラスの飛散防止対策を行っている		
10 おぼれによる事故を防ぐために浴槽に水をためないようにするか、風呂場に子どもが1人で入れないようにしている		
11 火気器具類(石油ストーブ)は、家具が転倒したり、燃えやすいものが落下したりする場所を避けている		
12 非常用持ち出し袋は、すぐに持ち出せる場所に置いてある		

1度だけでなく、時間をおいて再チェックしましょう。